

平成25年度事業報告

- 1 総会 4月6日(土)18・30 「もとよしにて
- 2 春の手入れ 4月20(土)7時30～ 参加3
- 3 会員15 NGKオホーツク12 一般6
- 3 水芭蕉通信8号発行 5月 清水敦 佐藤正博
清水晶子 溝渕由美 及川百合子他
- 4 夏の手入れ 8月23日(土) 参加12 会員
- 7 NGKオホーツク5 草刈、枝払い
- 5 ホタル観察 7月下旬から8月上旬 各自観察
- 6 北花プロジェクト参加 北浜の法面原生花園化
整備 毎年参加しているが成果はまだわずか

平成25年収支決算

収入の部	
会費収入	47,000 1,000×47名
寄付金	21,555
利息	12 通帳利息
当期収入合計	68,567
前年度繰越金	107,993
収入合計 a	176,560
支出の部	
事務費	28,534 コピー代 資料作成費
通信費	2,560 切手代
会議費	5,000 会場費
雑費	4,358 お菓子お茶代
当期支出合計 b	40,452
次期繰越金 a-b	136,108
現金・貯金	
通帳残高	121,108
現金	15,000
合計	136,108

平成26年度事業計画

- 1 総会4月4日(金)18:00 もとよし
- 2 春の手入れ 4月19日(土)7時30分から
- 3 水芭蕉通信9号発行 5月末予定
- 4 夏の手入れ 8月23日(土)7時30分から
- 5 ホタル観察
- 6 役員会(必要に応じて)
- 7 その他 網走市、開発局への協力
- 8 会員募集へ向けた広報活動

平成26年度収支予算案

収入の部	
会費収入	47,000 1,000×47名
前期繰越金	136,108
収入合計	183,108
支出の部	
事務費	30,000 資料制作費
通信費	3,000 切手代
作業費	30,000
会議費	5,000
雑費	20,000
予備費	95,108
支出合計	183,108



例年より遅めに顔を出し始めたミスバシヨウ(21日午前10時ごろ、呼人の湿地帯で) 網走タイムズ



水芭蕉通信 10号 2014・5・27



呼人に春の訪れ

ミスバシヨウ咲き始める

呼人の湿地帯で春の訪れを告げるミスバシヨウの花が咲き始めています。網走には呼人をはじめ網走湖の女満別湖畔、涛沸湖の浦士別湖畔など知られた群生地が多い。今冬は例年より多い雪に見舞われ、4月に入ってから雪が降つたため、湿地帯の雪解けも例年より遅れている。このため湿地帯にはまだ多くの残雪もあり、ミスバシヨウはより早く小さな顔を出し始めたばかり。ミスバシヨウのほとんどは葉が変形した独特の白い仏炎苞(ぶつえんほう)を固く閉じたままだが、日当たりのよい一部の花開いた場所からは白と緑のコントラストが少しずつ広がっている。網走周辺の群生は湖水の水質悪化や湿地の乾燥など環境の変化が原因で、ミスバシヨウはより早く顔をのぞかせるようになった。市民ボランティアらが年に数回手入れしている。市内で桜の季節が訪れるまで、例年通りだと4月下旬から5月上旬にかけてが見ごろのミスバシヨウが市民や観光客らを楽しませてくれる。(小野)

会費の納入(1,000円) 引き続きよろしくお願いいたします。郵便振替口座 02730-3-20099 網走湖・水と緑の会 会員募集中!

20人が集まった。地域の環境保全に協力しようとして、今年もNGKオホーツク(市呼人)から9人が参加した。例年だどこの時期には群生地内の雪も解け、ミスバシヨウも芽を出し始めるが、今年はまだ一面真っ白の冬景色。毎年行っている、群生地内に水が滞留するようになっている手入れはできず、群生地の周囲を流れる小川に落ちた枯れ枝などを取り除く程度で作業を終えた。清水会長は「いつも社員9人が作業を手伝ったNGKオホーツクの島輝人総務部長は「この群生地は観光客も多く訪れる場所。地域の企業として、環境保全に少しでも役立てれば」と話していた。(伊藤)



会員や地域住民など、約20人が群落地の手入れに集まった

残雪で作業おあずけ 水と緑の会の群落地整備 市呼人にあるミスバシヨウ群生地の保全に取組んでいる網走湖・水と緑の会(清水晶子会長)が19日、群生地の手入れをした。毎年、この時期に行っているが、今年も例年より雪解けが遅く、群生地にはまだ雪が残っていることから、作業は周囲の小川の清掃にとどまった。会員や市民など、約